



特別支援

職業

知的障害教育部門高等部 1 年

## 進路選択に向けて「自分を知ろう」

### 授業アイデア

#### 【ねらい】

- ・自分の行動を振り返るための「ステップシート」を用いて自分の現状について考える。
- ・他者の視点を取り入れながら教員と振り返りを行うことで、自己の現状や課題を認識する。

#### 【内容】

- ① 生徒がステップシートに自己評価を記入する。
- ② あらかじめ複数の教員ですり合わせた生徒に対する評価(客観的評価)を、授業担当の教員がステップシートに記入する。
- ③ 生徒がステップシートで自己評価と客観的評価を比較する。
- ④ 生徒が授業担当の教員と1対1でステップシートを見ながら振り返る。

※ステップシートの記入と振り返りは合わせて行うことが重要です！

#### 【④のポイント】

「具体的」「視覚的」「肯定的」

- ・教員が一方的に話すのではなく、生徒の言葉を引き出す問い掛けをする。
- ・生徒がイメージしやすいように具体的な場면을伝えたり必要に応じて映像記録を活用したりする。
- ・苦手なところやできないところを生徒が気付けるように伝える。
- ・できなくてもやろうとする姿勢が見られたときには、取り組もうとする姿勢を認める言葉掛けをする。

※ステップシートは裏面に記載しています。

※ステップシートは学習の評価やできるできないを判断するものではなく、生徒が自分の行動を振り返り、他者の視点を知るためのものです。

※作業や校内実習、校外実習のような実践的な学習の前後に実施すると、より自分を知ることにつながります！

# 【使用したステップシート】

## 1. 身辺について

		1	2	3	4	5
1	 <p>体調の管理</p>	周囲の人から言われて 体調の変化に気づく	自分では伝えられないが 体調の変化に気づく	体調の変化に気づいて 体調が悪いとなんらかの 表出をする	体調の変化に気づいて 自分から他者に伝える	体調の変化に気づき 自分がどうしたいか 他者に伝える
2	 <p>身だしなみ</p>	周囲の人から言われて 身だしなみの乱れに 気づく	身だしなみの乱れに気づ いて他者に直してもら う	言われれば身だしなみを 自分で整える	自分で身だしなみを整え る	自分で身だしなみを整え て鏡で確認する

## 2. 仕事に関して

		1	2	3	4	5
1	 <p>出席状況</p>	遅刻・欠席・早退 月に8回以内	遅刻・欠席・早退 月に4回	遅刻・欠席・早退 月に2回	遅刻・欠席・早退 月に1回	遅刻・欠席・早退 月に1回もない
2	 <p>持続力</p>	1時間程度なら 作業が続けられる	作業速度は落ちるが 半日作業を続けられる	作業速度は落ちるが 1日作業を続けられる	一定のペースで 半日作業を続けられる	一定のペースで 1日作業を続けられる
3	 <p>正確性</p>	ミスは多いが 自分がミスした ところがわかる	周囲の人から言われて ミスを減らせる	周囲の人から言われて ミスなく作業する	ミスないように自分で 工夫しミスを減らせる	ミスないように自分で 工夫しミスなく作業する
4	 <p>指示理解</p>	1つずつ手順を一緒に 確認すると指示がわかる	個別指示を聞けば 指示がわかる	全体指示と手順書が あれば指示がわかる	全体指示を繰り返し 聞けば指示がわかる	全体指示を1回聞けば 指示がわかる
5	 <p>ホウレンソウ</p>	自分からは行動できな いがホウレンソウが 必要な場面だとわかる	自分から合図をして 気づいてもらうのを待つ	伝え方が分からないが 自分から合図する	伝え方が分かり自分から ホウレンソウをする	自分から相手に身体を 向けて止まって ホウレンソウをする
6	 <p>ルールを守る</p>	ルールがあることが わかる		ルールを守れないことも あるが ルールを守ろうとしている		決められたルールを 守ることができる

## 3. 対人関係について

		1	2	3	4	5
1	 <p>あいさつ</p>	相手の方を見る	おじぎをする	知っている人には 自分からあいさつする	だれに対しても 自分からあいさつする	いつでもだれにでも 相手の顔を見て 自分からあいさつする
2	 <p>返事</p>	返事はできないが うなずくことができる		できないときもあるが 返事ができるときもある		いつでも 返事ができる
3	 <p>ていねいな 言葉</p>	友だち <small>ちゆう</small> と調 <small>てい</small> で話す	友だち <small>ちゆう</small> と調 <small>てい</small> としていねいな 言葉どちらも使って話す	言われれば ていねいな言葉で話す	目上の人には ていねいな言葉で話す	だれに対しても ていねいな言葉で話す

※自己評価は直接マスに○を記入します。客観的評価は形や色を変えて記入します。

※内容は生徒の実態や目指す生徒像に即して見直します。

※詳細は、総合教育センターWebサイト 長期研究員 研究報告 (R5) をご覧ください。